

ポーランド・南ドイツ

旅行代金 2018年11月18日 発 339,000 円
 一人部屋追加料金 49,000 円
 定員 20 名 (最低実施人員 15名) 添乗員同行 申込み締切：出発日の1ヶ月前

日次	月 日	曜	都 市	現 地 刻	交通機関	摘 要	〈宿泊地〉	食事
①	11月18日	日	成田・羽田空港発 ヨーロッパ内都市経由 ク ラ ク フ 着	午前 午後	航 空 便	集合:午前7時半~12時半頃 空路、経由便にて ヤギューオ朝の黄金期に栄えた古都クラクフへ 着後、ホテルへ 〈クラクフ泊〉	B-機 L-機 D-X	
②	11月19日	月	ク ラ ク フ 発 オシフィエンチム着 ク ラ ク フ		専 用 車 歩	専用車でオシフィエンチムへ アウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所見学 夕食はユダヤ料理とユダヤ音楽を楽しめるレストランにご案内 〈クラクフ泊〉	B-H L-R D-R	
③	11月20日	火	ク ラ ク フ	午前 午後	徒 歩	中世そのままの趣を残す クラクフ旧市街（世界遺産） 見学 ◎ヴァヘル城◎ヤギューオ大学●聖マリア教会 午後：自由行動 OP:ショパンピアノコンサート♪ 〈クラクフ泊〉	B-H L-X D-X	
④	11月21日	水	ク ラ ク フ 発 ミュンヘン着	午前 午後	航 空 便 公 共 交 通	空路、ドイツ南部の都市ミュンヘンへ 着後、ミュンヘン市内見学 ●フラウエン教会 ◎マリエン広場と新市庁舎 ●NSドキュメントセンター 世界最大級のピアホールでお食事 〈ミュンヘン泊〉	B-H L-R D-R	
⑤	11月22日	木	ミュンヘン発 ニュルンベルク着 ニュルンベルク発 ミュンヘン着	午前 午後	公 共 交 通 徒 歩 公 共 交 通 徒 歩 公 共 交 通	列車でニュルンベルク中央駅へ向かい、Sバーンに乗り換え ドク・ツェントルム見学（ナチス党大会会場跡） >ニュルンベルク法が制定された場所が現在ドキュメントセンターに。再び、Sバーンでニュルンベルクへ ニュルンベルク見学 ◎職人広場 ●聖ローレンツ教会 ◎中央広場 ◎カイザーブルク（テラスまで） ◎デューラーの家 再び、列車にてミュンヘンへ 〈ミュンヘン泊〉	B-H L-R D-X	
⑥	11月23日	金	ミュンヘン	午前 午後	公 共 交 通	ミュンヘン市内見学 ●ミュンヘン大学（白バラ関連のモニュメント見学） 白バラ財団の関係者のお話（予定） 自由行動 旧市街散策や、美術館見学などをお楽しみください。 〈ミュンヘン泊〉	B-H L-X D-X	
⑦	11月24日	土	ミュンヘン発 ヨーロッパ内都市経由	午前	航 空 便	空路、ヨーロッパ内都市経由で帰国の途へ 〈機中泊〉	B-H L-X D-機	
⑧	11月25日	日	東京・成田空港着	午前		到着後、解散（9~16時頃）	B-機	

H=ホテルで、R=レストランで、X=食事なし、機=機内食、軽=軽機内食(スナックなど)
 OP=オプション・ツアー(希望者参加の小旅行、別途料金) サ=サンドイッチ 弁=弁当

ツアーの特色

- ◇ナチスが結党したミュンヘンで、ナチズムの歴史を学び記憶する記念館を訪問。
- ◇かつてニュルンベルク法が制定された古城の街・ニュルンベルク、ドク・ツェントルムを見学
- ◇芸術の都として栄えたミュンヘンでは散策やビアホールでのお食事もお楽しみに

利用航空会社

ポーランド航空、フィンランド航空、スカンジナビア航空、ルフトハンザドイツ航空、全日空 など

利用ホテル

都市名	ホテル名
クラクフ	ポロニア、マティコ、アンデルス、ホリデイイン
ミュンヘン	マイアー、メルキュール、オイロペイ、マリティム、メリディアン、エーダー または同等クラスのホテル

旅行代金に含まれるもの

国際航空料金（エコノミークラス）
 旅程表に明示したバス・列車・船等の料金・宿泊料金・食事料金
 航空機による手荷物運搬料金
 旅程表に明示した見学地のガイド料、入場料、チップ

旅行代金に含まれないもの

超過手荷物料金
 クリーニング代、電報・電話代、心づけ、追加飲食等の個人的性質の諸費用
 成田空港施設使用料、保安料 2,610 円
 お一人部屋追加料金 49,000 円
 国内における集合・解散地までの交通費・宿泊費
 燃油付加運賃・航空保険料 37,640 円（2018年8月現在）
 空港税 13,040 円
 渡航手続費用：旅券印紙代
 傷害、疾病等に関する医療費、任意の旅行傷害保険料



ビルケナウ強制収容所跡



クラクフ旧市街



マリエン広場とミュンヘン新市庁舎



白バラのモニュメント